

映画「ムヒカ 世界でいちばん貧しい大統領から日本人へ」のご感想

2022.3.9（水）上映 @熊本市国際交流会館ホール

・貧乏、生きる、などいろんなことを考えるきっかけとなる映画でした。じんとくる映画でした。(40代女性)

・幸せになる。この言葉が持つ意味について考えるいい時間になった。(20代男性)

・ムヒカさんが日本に来られたことはニュースで知っていましたが、日本のことをあれほど考えてくださっていたことに驚きました。私たちはこの国の中で、みんなが幸せになるためにどうしたらいいのかと、もっと真剣に議論していくべきだと思います。この国の未来をどうしたいのか、どんな国を作っていきたいのか、一人ひとりが考えていきたいものです。(50代女性)

・仕事やコロナに振り回されて、24時間が同じようくり返されていくような生活だが、少し立ち止まって足元や周りをゆっくり見て考える余裕をもちたいと思わせる、そんな映画でした。(50代男性)

・心が豊かになるお話でした。(40代女性)

・忙しい毎日につかれていたが、この映画を見て、人生の生き方を広く感じる事ができた。(20代女性)

・貧しいのは物が少ないのではなく、たくさん買っても満足しない心が貧しい、という言葉がとても考えさせられる言葉だった。(20代男性)

・貧しさの定義が変わったと自分の中で刺激になった。考え方を変えることは年を重ねるほど難しくなってしまうと思うが、だからこそ若者の考え方から変えていく、柔軟に対応することが大切だと思った。(10代女性)

・いい仕事に就け、もっとかわいく、もっと細く、恋人をつくれ、そんな価値観があふれている今、幸せはその中にあると思いがちでも本当の幸せとは、心の中で自分が感じているそのものだと知った。(10代女性)

・今までホセ・ムヒカ前大統領の一側面しか知らなかったのが、過去の歴史を知って、より興味をもちました。(40代男性)

・幸せとは？貧しいとは？いったい何なのかということを考えさせられました。バンガラにいたときに現地の方に言われた、「金銭的には貧しい人が多い国だけど、皆心はゆたかだよ。」という一言を思い出しました。(30代女性)

・皆が同じ考えではないので、皆が幸せで平和な世界の実現というのは本当に難しいです。しかし、各々が少しでも相手の立場になって考えることが出来たら少しでもよい世界になるのかなと改めて思いました。(20代女性)

・自分を見直し、みつめるいい機会になった。私は何をしたいのかたくさん経験して考えたい。(10代男性)

・仕事の毎日で、人生として大切なものを見失いつつあることが分かった。(20代男性)

・文明や人類のおろかさに関する見方を改めて考えさせられた。(50代男性)

・心にとめておきたい言葉であふれていました。とても励まされた。想像以上でした。(30代女性)

・自分の幸せは何だろうと改めて考える種をもらった思いです。(50代男性)

・人のふりみて我がふり直せではないけど、もっと本を読んだり映画をみたりして想像力を養いたいと思いました。ムヒカさんと日本をつないでいたのが菊の花がはじまりだったのが意外だった。ムヒカさんのことを知れてよかった。(40代女性)

・愛を感じました。(50代男性)

・幸せになるために、自分でできることから始めます。(50代女性)

・いくら“世界一貧しい大統領”とはいえ一般市民よりは少し高い生活水準の暮らしをしているのでは？と思っていたが、ムヒカの自宅や暮らしはとてもシンプルで、私の祖父母の家のようなだったので驚いた。紡がれる言葉ひとつひとつが心に沁みた。(10代女性)

・ムヒカ大統領の言葉は、日本人の価値観にとって、とても示唆に富んでいた。各々の「幸せ」をものさしに考えていきたい。(60代女性)

・紡ぎ出されるのは、政治家ではなく哲学者のことば。すべての中高生にこの映画を見てほしい。(60代女性)

・“人間は発展するために生まれてきたのではない、幸せになるために生まれてきたのだ”はっとさせられる言葉がたくさん、ムヒカさんから聞くことが出来ました。(60代女性)

・言葉や生き方に重みがあり、本当の幸せは何か考えさせられました。このような方が日本の政治家でいらっしやったらすごいことになるのだろうなと考えますが、まずは一

人一人の幸せが大事なのではと思いました。(40代女性)

・ムヒカ大統領の言葉一つ一つが心に響いてきました。ご自分の体験からの力強い言葉であることを感じながら聞いていました。心に残るすばらしい出会いとなりました。(70代男性)

・「後世の人は彼の存在したという事実が信じられないだろう。」アインシュタインがガンディーを評した言葉を思い出しました。まずは自分で考え行動することの大切さをムヒカに教わった気がします。(40代男性)

・何の為に生きるのかとても考えさせられる。人の幸せとは何なのだろう。私は子ども達の為に何を残すことができるのだろうか。私自身が何か信念を持ってつらぬいて生きてきたらどうか、そんな姿を子どもたちに示してこれたらどうか。自分の幸せ、これからを生きる人たちの幸せを考えて、今後の人生を全うしたい。(40代女性)

・とても考えさせられるすばらしい映画で、もっとムヒカ大統領のことを知りたくなりました。3年間パラグアイに住んでいて考えたことがあります。貧しくても、家族・友人を大事にし、仲がよく、毎日楽しくすごす人たち。日本人は、毎日忙しく働き、子ども達は勉強に追われ家族もバラバラで、物は豊かなはずなのに、心は決して豊かでない。今日の映画で色々と考えさせられました。Muchas gracias! (50代女性)

以上